

各位

上場会社名 ナビタス株式会社
 代表者 代表取締役社長 中村 弘一
 (コード番号 6276)
 問合せ先責任者 執行役員管理部長 眞柄 光孝
 (TEL 072-244-1231)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,200	38	45	23	4.40
今回発表予想(B)	1,680	△60	△53	△35	△6.75
増減額(B-A)	△520	△98	△98	△58	
増減率(%)	△23.6	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	2,584	207	221	126	23.64

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,100	210	226	115	22.01
今回発表予想(B)	4,100	84	97	43	8.29
増減額(B-A)	△1,000	△126	△129	△72	
増減率(%)	△19.6	△60.0	△57.1	△62.6	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	4,446	103	112	60	11.40

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,400	15	35	16	3.06
今回発表予想(B)	800	△86	△62	△40	△7.71
増減額(B-A)	△600	△101	△97	△56	
増減率(%)	△42.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	1,455	67	97	55	10.44

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,200	130	169	80	15.32
今回発表予想(B)	2,400	54	95	50	9.64
増減額(B-A)	△800	△76	△74	△30	
増減率(%)	△25.0	△58.5	△43.8	△37.5	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	2,404	△113	△66	△49	△9.31

修正の理由

当社グループは、市場動向を見据えた営業現場の売上見通しを基準に、これまでの業界及び当社製品の業績トレンドを加味して、業績予想を作成しております。

前回(平成21年5月15日)発表致しました業績予想につきましても、当社グループの主要取引先の動向を踏まえ、第2四半期連結累計期間においては、売上高は前年同期比14.9%減の予想を作成しておりました。

しかしながら、当第1四半期につきましては、当社の主要取引業界各社においては、在庫調整が予想以上に長く続き、新規設備投資は言うまでもなく、現状生産設備の稼働率も大幅に少なくなりました。当社グループとしましては、機械設備の新規受注の減少に加えて、当社の安定した収益を支えていた関連資材の売上高も減少し、これまでに全く経験のない厳しい業績の推移となりました。このため、当社グループの第1四半期連結売上高は、前年同期と比較して40.3%減となり、大幅に低迷する結果となりました。

このような状況を踏まえ、第2四半期連結会計期間の業績予想につきましては、画像検査装置やオンデマンド箔プリンタ一等の新製品を基軸にして受注増に努力しておりますが、当社の主要取引業界では回復の兆しは見え始めてはいるものの、設備投資計画の進捗は慎重な姿勢が続いております。当社装置の導入計画も先送りとなるケースが多く、連結売上高は前回予想の22億円を下回る16億80百万円となる見込であります。利益面につきましては、人件費削減を含め全社一丸となって原価低減・経費節減に努めてまいりますが、売上高減少の影響により営業損失は60百万円、経常損失は53百万円、四半期純損失は35百万円となる見込です。

通期の業績予想につきましては、当社の主要取引業界は回復の兆候が見え始めており、自動車業界での環境対応車のように一部大幅な需要増が見込まれるものがある中で、全体の生産量は少しずつ回復するものと推測されます。このような状況の中で、通期の連結売上高は41億円、連結営業利益は84百万円、連結経常利益は97百万円、連結当期純利益は43百万円となる見込です。尚、個別の業績予想の修正につきましても、同様の理由によるものであります。

また、配当予想につきましては、大変厳しい状況ではありますが、前回発表のとおり中間配当1株当たり7.5円、期末配当1株当たり7.5円を予定しております。

以上